

ふちらいふ

らいふ通信

lifsea

株式会社リフシア

ホームページ
http://lifsea.co.jp

らいふ日記 (スタッフブログ)
green.ap.teacup.com/lifekaigo

2012秋 Vol.29

(自分の誕生日)頃に日本橋に帰ってくるという、新たな目標を立てています。
実はこの東海道53次は、「らいふ萩園」で一日一回チャレンジできる歩行訓練プログラムです。(施設の中を5周く10週歩くとひとつ宿場を進むことが出来、2000らいふ貰える自由参加のプログラム)



東海道53次ウォークのマップには、歩いた日付けが記録されます。自主的にプログラムに参加する小川さん。



平成18年6月から「らいふ萩園」を利用して、小川敏士さん(70歳)の日課は、バイタル測定後に東海道53次にチャレンジすることです。今年7月に日本橋を出発して9月に京都・四条大宮到着を達成したので、現在は折り返し、1月26日



「らいふ萩園(デイサービス)」で東海道53次にチャレンジ

らいふインタビュー

小川敏士さん(70歳)

小川さんは脳梗塞の後遺症で左側に障害が残りました。現在要介護2で、着替えなど身の回りの事はなるべく自分で行っています。4点杖で歩いていますが、左側の筋肉が硬くなりやすく膝にも痛みがあるため、一人で歩くのに不安を感じていました。そのため、以前皆さんで行っていた体操や遊びり

テーションにお誘いしても参加されず、ホットパックやマッサージ、お風呂、テレビ鑑賞など動きの少ない生活をデイサービスで行っていました。

今年「らいふ萩園」に理学療法士が入り、4月からリハビリ重視のデイサービスになったことで、小川さんの生活が大きく変わりました。膝の負担を少なくするバランス練習や起立練習、関節可動域訓練、ストレッチなどを理学療法士が行う個別機能訓練に取り



プログラム参加のあとにはこんな楽しみも



足を使うボウリングもお気に入り



プログラムに参加すると『らいふ通貨』が増えるのも、モチベーションアップに繋がります。らいふ通貨が使えるのは、『らいふコンビニ』や、映画等々。小川さんは、もっか、スタッフに珈琲をご馳走するために頑張っているそうです。

「痛みが悩まされて、家で寝てばかりだったけど、関節がたくならないよう胡坐をかく時間を作っている」そうで、自宅の生活も改善しました。

入れたことで、「前は痛くて一人で歩くのが怖かったけど、こゝでリハビリをやつてもうから、最近じゃホットパックなしで大丈夫。頑張つて歩いているから体力もついてきたし、デイサービスに来て友達に会うのが何より楽しみだよ」と意欲的です。

光

1) とんぼは、漢字では、「蜻蛉」と書き、晩春から秋まで見られますが、昔から俳句では、秋の季語とされてきました。中でも赤とんぼと呼ばれる小型の赤いとんぼは、秋を象徴する風物の一つです。

♪夕焼け小焼けの赤とんぼ…あの名曲「赤とんぼ」は、山田耕筰が茅ヶ崎で作曲しました。大正15年に、市内の南湖三丁目に家族とともに引越してきました。ここで、「砂山」、「あわて床屋」、「この道」など多くの珠玉の童謡を作曲しました。地元の人の話では、当時は、南湖のこの辺りまで、海岸からの松林が続き、小川が流れていたといいます。のどかな風景だった



中央公園の赤とんぼの石碑

のですね。「赤とんぼ」は、夕方のチャイムでお馴染みです。今年3月に、中央公園に「赤とんぼ」の音楽碑が建設されました。オルガンの形をした碑はレトロな香りがします。

2) 山田耕筰作曲、北原白秋作詞の「からたちの花」は、私の大好きな歌です。

♪からたちも秋にはみのるよ

まるいまるい金のたまだよ

からたちのそばで泣いたよ

みんなみんなやさしかったよ…

という箇所は特に胸にジンときます。

3) 大学の入学が数年後から、国際化の波で、春から秋になるという動きがあるそうです。そうになると、卒業・入学という春の風物詩が、秋にどんな風に模様変えるのか、興味があります。

●秋のうたイントロ・クイズです。

- ①♪静かな静かな里の秋・・・
 - ②♪だれかさんが だれかさんが・・・
 - ③♪秋の夕日に照る山紅葉・・・
 - ④♪今はもう秋 誰もいない海・・・
 - ⑤♪あれ松虫が鳴いている・・・
- 秋はロンッチックな叙情歌・童謡にしぼりました。特定の歌手名は②④だけにします。(井)



秋のうた

イラストレーション加藤 芳明さん

答え⑤童謡「虫の声」④トワ・エ・モア「誰もいない海」③童謡「紅葉」②ボニー・ジャックス「ちいさい秋みつけた」①童謡「里の秋」

編集後記

編集室では、毎年恒例のカレンダーを作りました。2013年のカレンダーのテーマは、自分たちの『想い出の写真』です。リフシアの事業所を使っている皆さんやご家族が楽しんでいただけるように、はじめて出会う方にも私たちの生活の一部を知っていただけるように…そんな思いで作りました。ご希望の方は編集室にお問い合わせください。



lifsea
株式会社リフシア

らいふ萩園 デイサービス (認知症対応型・一般型) TEL 0467-89-5277
らいふ萩園 居宅介護支援センター TEL 0467-89-5277
らいふ松林 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-54-8591
らいふ神明 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0466-21-7893
らいふ柳島 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-84-1220
らいふ香川 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0467-55-2110
らいふ松が丘 デイサービス TEL 0467-53-9521
らいふ松が丘 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-53-9610



らいふ通信「ふちらいふ」秋号Vol.29
2012年11月15日(季刊発行)
編集/ふちらいふ編集室

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL 0467-55-5102 FAX 0467-55-5103
発行/株式会社リフシア

特集「地域の絆」の大切さを学ぶ

地域の絆は顔の見える関係から。

甚大な被害をもたらした東日本大震災を教訓に、全国でハザードマップの見直しや防災体制の整備が行われています。神奈川県茅ヶ崎市でも自治会が中心になって、大地震に備えた情報収集や訓練が9月以降取り組まれて、防災意識が高まっています。

リフシアのある萩園地区は、津波防災訓練（10月14日）に約1,000人参加したそうです。

地域の自治会に加入しているリフシアのグループホームや小規模多機能も、それぞれ防災訓練に参加しています。

今回参加してうれしく感じた事は、事前に開かれた地域の懇談会で高齢者や障がい者など避難が難しい人たちの対応を考えたり、訓練

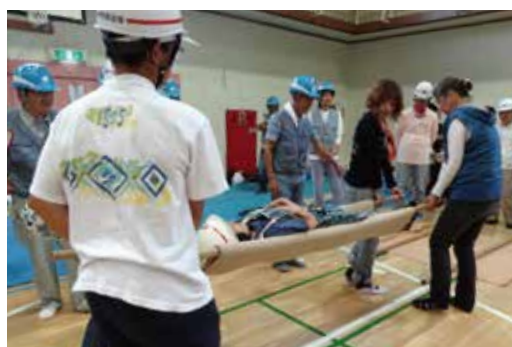
当日に防災担当の方が一緒に車いすの方に付き添うなど、地域で支え合う暖かい気遣いです。

雨の中行われた松林地区の訓練では、「皆さんが『寒くないか？トイレは大丈夫か？』と声をかけてくれ、とても心強かった。」というスタッフの感想がありました。福祉まつりなど地域の催しに

参加したり、事業所の夏祭りに来ていただいたり、ふだんから「顔の見える関係」を大切にすることで【地域の絆】が育まれているのだと思います。

↑毛布を使った搬送訓練の様子
この他、消火訓練・給食訓練・ロープ結索訓練・三角巾訓練なども行いました

室田小学校の体育館で行われた松林地区自治会連合会の防災訓練（9月23日）



しかし、まだまだ大きな課題があります。一般の避難所に滞在するのが難しい医療依存度の高い人、認知症の人、自閉症などの障がいのある人が介護を受けられる、福祉避難拠点が近隣に必要なこととです。

者世帯で介護が必要な方は、担当のケアマネジャーや民生委員、近隣の人に不安を相談してみてください。



被害状況等収集した情報を共有するためボードに書き出しているところ



「らいいふ神明」でもグループホーム・小規模多機能の皆さんが避難訓練に参加

リフシアの各事業所でも避難訓練を行いました



水消火器を手にする「らいいふ松が丘」のお客様



新たに改訂された茅ヶ崎市ハザードマップや津波ハンドブックは、市内の標高や避難場所、避難ルート等を示した重要な情報源です

リフシアは10月12日、震度6弱の大地震が起こったと想定して、全事業所一斉の訓練を行いました。ライフラインがストップしても事業所にとどまっている人が3日間しのげるような備蓄品の準備、発電機、操作点検、担架の搬送訓練、災害伝言ダイヤルのテスト、安否確認の報告など、これまでにない実践的な訓練でしたが、それでもまだ不十分な点が沢山見つかりました。



リフシアの全事業所で一斉に行った防災訓練（写真は「らいいふ萩園」）
物干し竿と毛布でできる担架搬送訓練中



第5回リフシア介護セミナー

認知症の理解に向けて 認知症の「8大原則1原則」



講師
特定医療法人財団石心会
川崎幸クリニック

杉山 孝博 院長

開催日時：2013年3月9日18:00～20:30

場所：茅ヶ崎市民文化会館 大会議室

定員80名（定員なり次第締めきります）

入場無料

お申込み・お問い合わせ

株式会社リフシア 事業企画部

☎0467-55-5102

ホームページからも、申込用紙をダウンロードできます。

